

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーの心で
友情を深めよう

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

勇気と希望をもって、
煌めくロータリーを



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

国際ロータリー会長

ゴードン R. マッキナリー

第2560地区ガバナー

米山 忠俊

高田ロータリークラブ会長

山田 守

幹事 吉田 巧

広報・会報・雑誌委員会：

細野仁・山本 陽・大島 誠・林 泰成

第 38 回例会 6 月 14 日(金)

No.38

会長挨拶

●山田 守



文学賞で有名なものに直木賞があります。私が以前に勤めていた会社の先輩で、この賞を受賞した人がいます。秋田出身で千葉治平という方で、「慮愁記」という作品で昭和40年第54回直木賞を受賞しました。

直木賞についてであります。直木が43歳(1934年S9年)で亡くなった後に文芸春秋創業の菊池寛により、芥川賞と共に(1935年S10年)に創設されました。直木の本名は植木であり、植を分解して直木にしたと言われています。今では、文学界の二本柱になっていますが、当初は大衆向けの新人作家の発掘を目指していたようです。しかし既に売れっ

子になっているようなベテランも受賞するようになり、時代と共に変わってきています。直木そのものは、後世に残るような大作を残していませんが、「水戸黄門」の原作を書いたといわれ、大衆向けに歴史小説を分かり易く書き人気があったようです。菊池寛賞もあり、菊池自身はこちらの方が権威があると思っていたのではないのでしょうか。

ちなみに、直木賞、芥川賞の賞は懐中時計と100万円ですが、菊池寛賞は置時計と100万円です。



出席報告

出席率 100%

ビジター・お客様スピーチ



第7分区ガバナー補佐
前川秀樹様

メイクアップ

飯塚宏佳君・細野 仁君：6/11 直江津 RC

ニコニコ BOX 紹介

前川秀樹様：1年間大変ありがとうございました

委員会報告

親睦委員会：6月の会員お誕生日 各お祝い

幹事報告

配布物：週報37、クラブ協議会資料

報告：次週6/21臨時総会(細則改訂案持参お願い)

クラブ協議会配付資料をご参照ください。



<お誕生日>
渡邊茂雄君・宮下 敦君
遠藤正義君・石倉 悟君
<ご結婚記念日>
石田誠夫君・遠藤正義君
山本 智君



本日のお食事
海鮮カレー



* 近況報告 / ひとこと *

株式会社澤井商事 澤井祥典君



私は 40 歳で高田ロータリークラブに入会させていただき、今年で約 28 年目になります。その内超まじめに活動したのは 14 年くらいであとはほぼ不良会員。現在の会員の方は 1~2 年で委員長をやり、3~4 年で幹事、あっという間に会長になるという大変忙しい活動に敬意を表します。私が言うのも何ですが、あまりまじめに活動しすぎて疲れない様に楽しんでください。私が入会した当時の今は亡き大御所に「ロータリーは男の遊び場だよ。」と言われたのを覚えております。

◇クラブ奉仕 A 飯塚委員長



上半期の報告時に、昨年からの会員増強の取り組みの引継ぎ及び入会のお声がけの確認、そして衛星クラブへの「親クラブからの入会勧誘」の報告をしました。
そしてようやく今年度の末、衛星クラブに杉田味噌様からご入会いただける事となりました。来期も継続的にピックアップと声がけを行っていただければと思っております。

◇職業分類・ロータリー情報委員会 中田委員長



1. 新会員の職業分類を確定しました。
 2. 入会 3 年未満の会員にファイヤーサイドミーティング（ロータリークラブについてのオリエンテーション）を 8 月 28 日に宇喜世にて行いました。
- 出席者 山田会長、吉田幹事、高橋副委員長、大島委員、中田委員長
細野仁、林泰成、鈴木陽一、嶺村武、宮下啓三 計 10 名
- 協議内容
- ・新会員オリエンテーション用資料「今日からロータリアン」を利用した新会員への研修の実施。
 - ・山田年度の収支予算書の明細を利用した詳細についての説明。

◇会員増強委員会



羽深委員長

<会員の増減>

1. 現在の高田 RC の会員数：59 名（正会員 58 名 名誉会員 1 名）
現時の高田さくら衛星クラブの会員数：12 名
2. 本年度入会者：6 名
高田 RC 4 名 / 衛星クラブ 2 名（内 1 名 6/28 入会）
3. 本年度退会者：3 名
高田 RC 3 名 / 衛星クラブ 0 名

◇衛星クラブ委員会 山崎委員長



<<運営方針>>

設立 4 年を向かえた高田さくらロータリー衛星クラブの活動更なる活性化と会員増強及び次期ロータリアンとして意識醸成を目指す。

<<事業計画>>→が今期これまでの結果

衛星クラブ会員一人ひとりが入会して有意義であると感じてもらえる活動活性化への支援

- ・会員増強による組織規模の拡大
→例会招待等積極的な勧誘活動により 2 名純増
- ・衛星クラブ単独事業の実施とその支援（SNS 等での活動発信含む）

→10 月：親睦 ゴルフコンペ（親会から 5 名参加）

4 月：奉仕活動 高田城址公園清掃活動（親会から 11 名参加）

- ・月 1 回の定例例会以外の親会メイクアップを増加（夜例会も含む）

→親会例会参加総数 76 名（前年度 48 名）

- ・ファイヤーサイドミーティング等ロータリー研修・大会等親会行事への積極参加

→サマーセミナー 2 名参加、地区大会 2 名参加、ガバナー公式訪問 4 名

- ・衛星クラブ会員による親クラブでの卓話実施

→次期実施

- ・ロータリーファミリー一体感醸成を目的としたローターアクトクラブとの世代間交流

→アクトクラブの活動復活後実施

◇クラブ奉仕 B 霜村委員長



年度初めの合同委員会を、6 月 22 日、会長、幹事含め 12 名の参加で開催し、方針の伝達を行ないました。

所属の 4 委員会の活動は、委員長を中心にスムーズに進めることが出来たと思います。

◇出席ニコニコ BOX 委員会 石倉委員長（渡邊委員代読）



委員長に石倉、メンバーに出澤さん、渡邊先生、小柳先生の 4 人で 1 年間活動しました。

出席については、各メンバー連絡もよく、なかなか出席率も高かったのではないかと思います。もし可能であれば各メンバー、他クラブへメイクしてほしかったと思います。当然出席回数にもカウントされますが、他クラブのロータリー活動を直に知ることができるチャンスだからです。今後、可能であればメイクを増やしてほしいと希望します。

ニコニコについてですが、もっといろいろな方から、いろいろな話題で出していただければ、例会ももっと賑やかなものになったのではないかと思います。

一年間お世話になりました。

◇プログラム委員会 佐藤委員長



本年度のプログラム委員会は「R I のテーマである『世界に希望を生み出そう』の実現に近づくためには、さまざまな分野の『今』を知る必要があります」を目標に掲げて卓話者の選定に取り組んできた。多様性への理解が求められる環境の中で、ジェンダーや地域に住む外国人の話題なども卓話のテーマにしてきた。旧来の考えだけにとらわれず、目を背けてはいけないテーマを少なからず会員の皆さんに届けられたと思っている。

◇社会奉仕委員会 釜田委員長（吉田幹事代読）

- ・社会貢献事業として、高田城址公園内の国友末蔵翁頌徳園に展示されている水車の塗装修繕、胸像および銘板の修復を実施しました。
同事業はホームページに掲載し、さらに報道機関4社の取材を受けて披露するなど高田ロータリークラブの「公共イメージ向上」につなげました。
 - ・恒例行事のオークションを出席・ニコニコBOX、親睦委員会の協力を得て2月9日に開催しました。
会員から数多くの品物の提供を受け、競売人の横山さんの熟練したトークと参加者の絶妙な掛け合いにより売上を伸ばし、40万円を超えることができました。
 - ・例会において秋田豪雨、能登半島地震への支援金を集め、地区ガバナー事務所に送金しました。
- ※今年度も皆様から社会奉仕活動にご協力いただき、ありがとうございました。